

中野市水道事業運営審議会 答申（要旨）	
日 時	令和6年10月29日（火）午後4時～4時30分
会 場	市役所4階 公室
出席者	（委員 敬称略） 池田寛信、関きよ子 （事務局） 石川建設水道部長、小林上下水道課長、高橋監理係長、望月主任主事

【会議内容】

1 開会	
課長	<p>○答申書の提出にあたり、事務局で司会進行をさせていただきます。よろしく申し上げます。</p> <p>○答申書の提出に先立ち、審議会の経過をご説明いたします。</p> <p>○5月28日（火）、市長から中野市水道事業運営審議会に対して、中野市水道料金並びに下水道使用料及び農業集落排水施設使用料等について諮問が行われました。</p> <p>○同日の会議で、事務局から委員の皆様に対して諮問内容を説明いたしました。</p> <p>○その後、委員の皆様には慎重な審議をしていただいた結果、審議会としての答申がまとまりましたので、会長及び会長代理から市長に対して答申をしていただく運びとなりました。</p> <p>○それでは、会長から市長へ答申書の提出をお願いします。</p>
2 答申	
会長	<p>○令和6年5月28日付け6中第868号で貴職から諮問された中野市水道料金並びに下水道使用料及び農業集落排水施設使用料の改定について、本審議会は、審議の結果、以下のとおり答申します。</p> <p>(1) 水道事業は、栗和田浄水場の更新工事などの大規模な工事を行っているが、現金預金に比較的余裕があり、今後10年間は健全な経営を図れる見込みであるため、現行料金を据え置くことが妥当である。</p> <p>(2) 下水道事業は、補填財源が今年度から赤字になり、このままでは大変厳しい経営状況となる見込みである。将来にわたり独立採算制を原則とした安定した経営を確保するため、少なくとも経費回収率を100%にした料金改定を目指し検討されたい。</p>

	<p>○付帯意見は3点あります。</p> <p>(1) 使用料改定の実施は、使用者への十分な周知期間を設けること。</p> <p>(2) 市は上下水道事業の更なる経営の合理化を図り、引き続き経営努力を行うこと。</p> <p>(3) 今後、水道料金と下水道使用料の料金体系の統一を検討すること。</p>
3 市長あいさつ	
課長	○続きまして、市長からご挨拶をいただきたいと思います。
市長	<p>○ただいま、会長より中野市水道料金並びに下水道使用料及び農業集落排水施設使用料等について答申書をいただきました。</p> <p>○会長、会長代理をはじめ委員の皆様におかれましては、公私ご多用の中、非常に熱心にご審議を賜り心からお礼申し上げます。</p> <p>○今後は本答申書を十分尊重し、対応いたします。</p> <p>○上下水道事業を取り巻く経営環境は、人口減少と節水意識の高まりによる収益の減少などが予想されるなか、施設等の老朽化や災害に強い設備とするための施設の更新が急務であり、健全経営を維持するためには様々な課題に取り組む必要があります。</p> <p>○市民の皆様にご理解ご協力していただき、「安全で信頼され続ける水道、下水道事業」を維持するために今後も全力を尽くします。</p> <p>○委員の皆様には、今後も上下水道事業に対してより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申しあげ、簡単ではありますが、答申書受理に際しての御礼のあいさつとさせていただきます。</p>
4 閉会	
課長	○以上で中野市水道事業運営審議会の答申を終わります。ありがとうございました。